

協議第 6 号

小城市公共施設等総合管理計画に係る個別施設計画の改定
について

このことについて、別紙のとおり協議する。

令和 6 年 10 月 24 日提出

小城市教育委員会 教育長 大野 敬一郎

協議理由

学校教育施設の個別施設計画を改定するため、小城市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条第 1 項第 1 号の規定に基づき協議する。

学校教育施設／個別施設計画の改定について

●学校施設の老朽化の状況

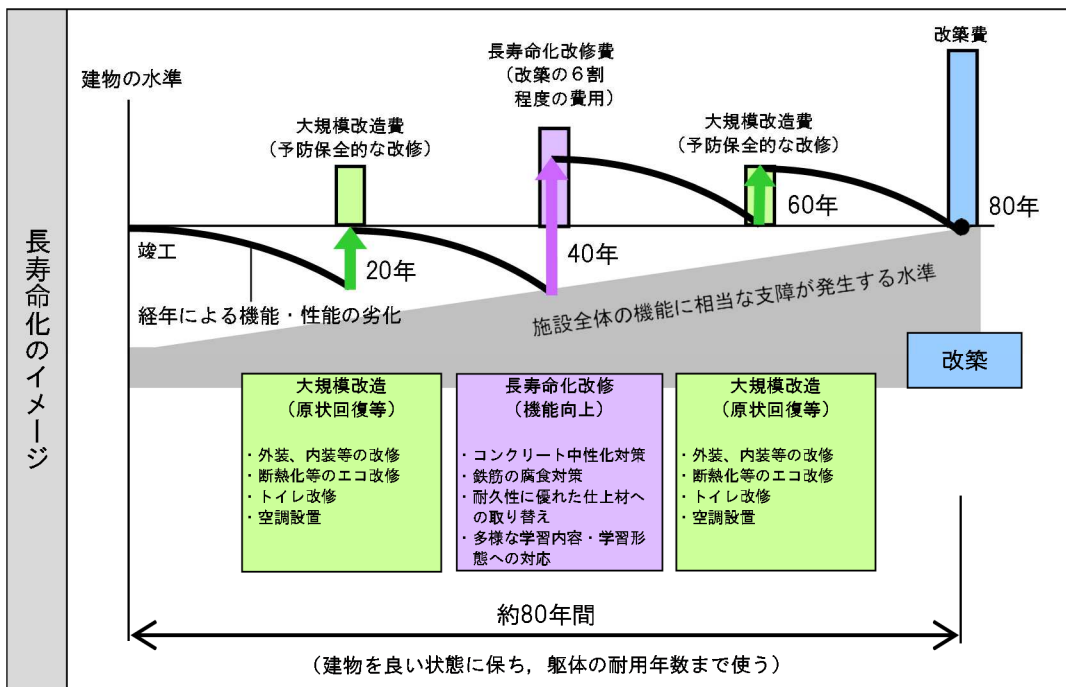
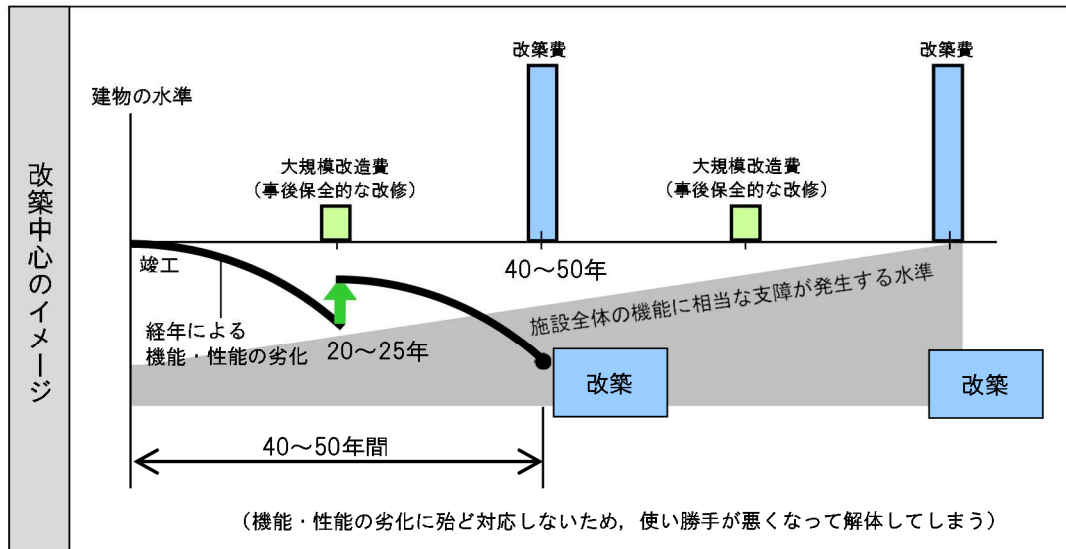
 : 築50年以上
 : 築30年以上
 A : 概ね良好
 C : 広範囲に劣化
 B : 部分的に劣化
 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報					劣化状況評価					
施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
桜岡小学校	校舎	RC	2,039	39	D	D	B	B	B	56
桜岡小学校	屋内運動場	RC	1,010	35	D	D	B	B	B	56
三里小学校	校舎	RC	2,495	37	D	C	B	B	B	63
三里小学校	屋内運動場	RC	945	37	D	C	B	B	B	63
晴田小学校	校舎	RC	2,736	38	D	D	B	B	B	56
晴田小学校	屋内運動場	RC	1,001	38	D	D	B	B	B	56
岩松小学校	校舎	RC	3,947	35	D	C	B	B	B	63
岩松小学校	屋内運動場	RC	1,012	35	D	C	B	B	B	63
三日月小学校	校舎(特別教室棟)	RC	2,759	33	A	C	B	B	B	69
三日月小学校	校舎(教室・管理棟)	RC	4,503	18	B	A	B	A	A	90
三日月小学校	屋内運動場	RC	1,417	24	C	A	B	B	B	78
三日月小学校	旧給食室	S	340	36	A	A	B	B	B	82
牛津小学校	校舎	RC	5,073	40	A	A	B	B	B	82
牛津小学校	屋内体育館	RC	1,115	40	A	A	B	B	B	82
砥川小学校	校舎	RC	2,977	37	C	C	B	B	B	65
砥川小学校	屋内運動場	RC	1,103	37	C	C	B	B	B	65
小城中学校	校舎	RC	9,280	16	A	A	B	A	A	92
小城中学校	屋内運動場	S	1,885	16	B	A	B	A	A	90
小城中学校	武道場	S	943	31	B	B	B	B	B	75
三日月中学校	校舎	RC	3,260	45	A	B	C	C	C	52
三日月中学校	屋内運動場	S	1,128	45	A	B	C	C	C	52
三日月中学校	武道場	S	420	44	B	A	C	C	D	48
三日月中学校	実習室棟	S	599	31	B	B	B	B	B	75
三日月中学校	部室棟	S	290	22	B	B	B	B	B	75
三日月中学校	特別教室棟・特別支援教室棟(プレハブ校舎)	S	494	13	-	-	-	-	-	-
牛津中学校	校舎	RC	8,531	15	A	A	A	A	A	100
牛津中学校	屋内運動場	RC	2,279	25	C	B	B	B	B	73
牛津中学校	部室棟	RC	324	25	A	B	B	B	B	77
芦刈観瀾校	校舎	RC	6,898	11	A	A	A	A	A	100
芦刈観瀾校	校舎(旧中学校棟)	RC	3,468	48	D	D	C	C	D	24
芦刈観瀾校	屋内運動場	S	2,362	12	A	A	A	A	A	100
芦刈観瀾校	部室棟、実習棟	RC	1,075	30	C	C	B	B	B	65

●学校施設の目標使用年数、改修周期の設定

目標使用年数は、学校施設長寿命化計画策定に係る手引き（文部科学省）を参考に80年と設定します。

改修周期は、大規模改修を20年周期、長寿命化改修は築40年目を目安とします。

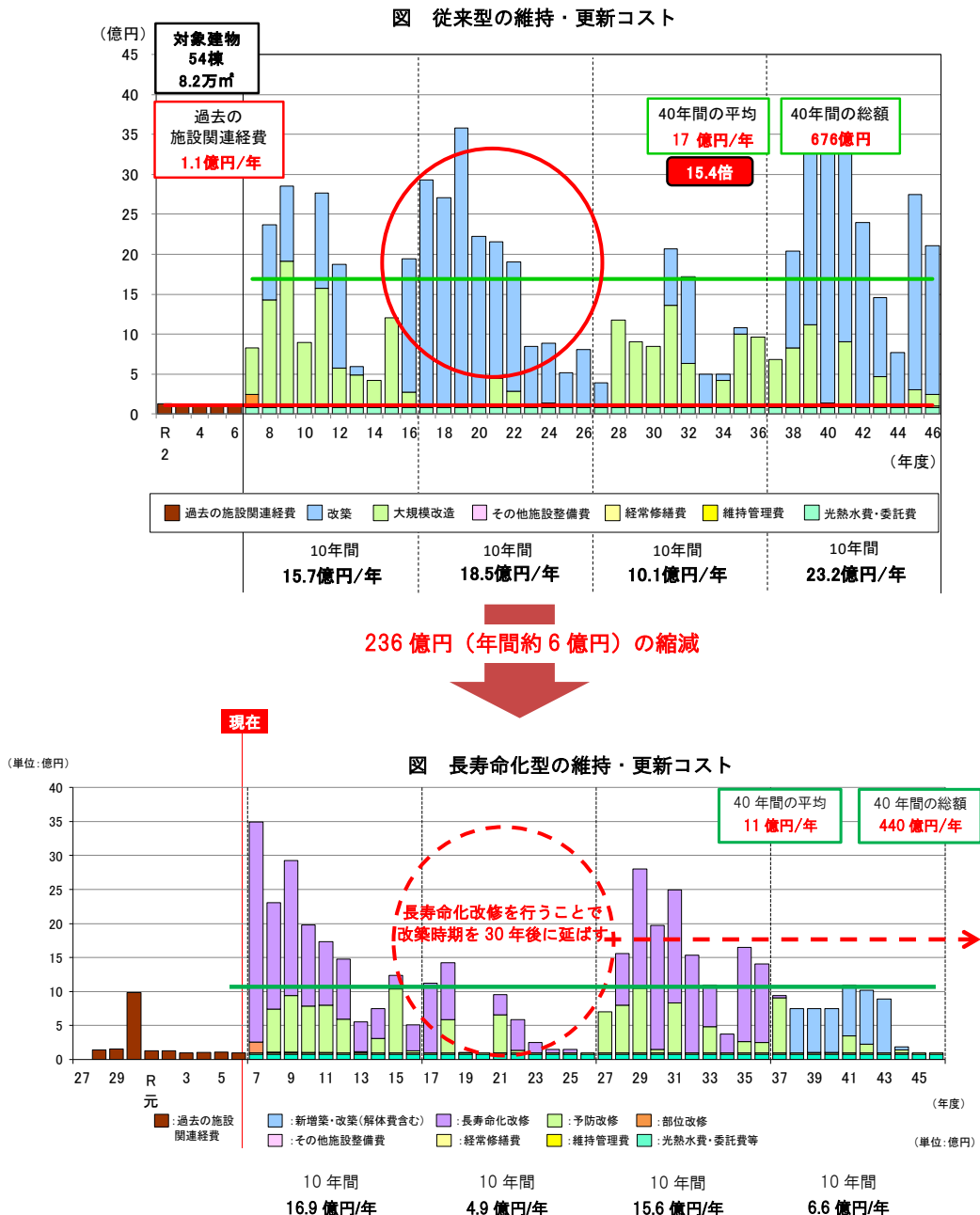


●ライフサイクルコスト

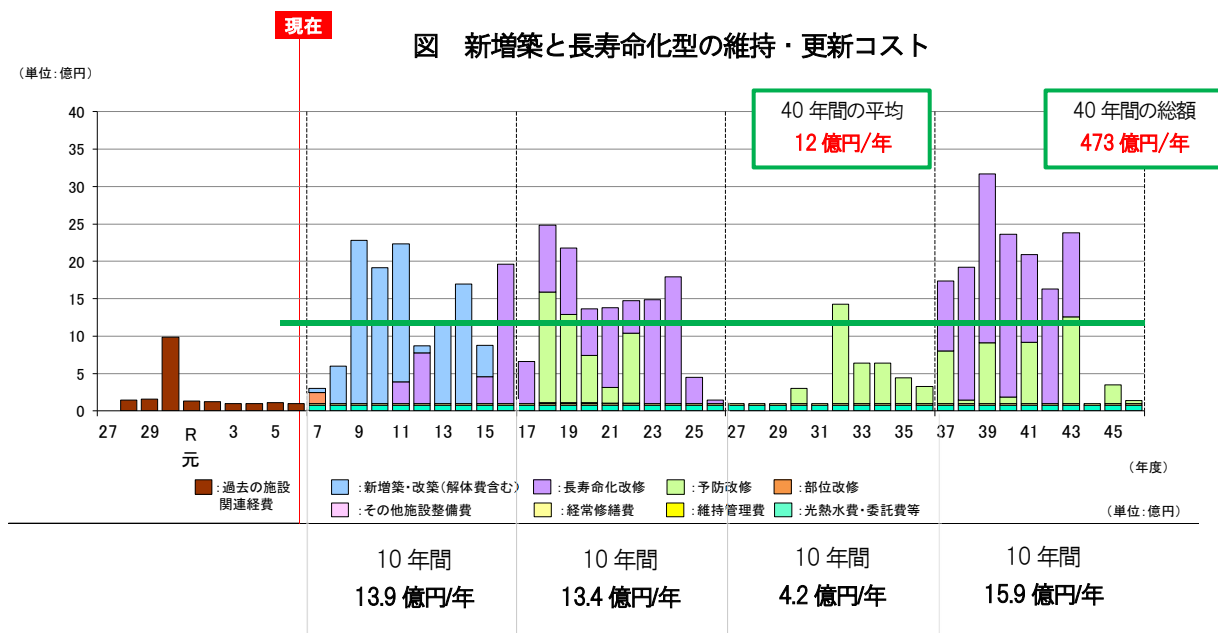
従来型（改築中心）で維持・更新を行った場合、40 年間で累計 676 億円の費用が発生し、年平均約 17 億円が必要となります。

一方、長寿命化型では、40 年間で累計 440 億円の費用が発生し、年平均約 11 億円が必要となり、累計で従来型よりも 236 億円、年平均で約 6 億円の費用を縮減することができます。

以上のことから、建物を長寿命化することでコストの削減を図ることができます



※令和 6 年度以降の「その他施設関連費」「維持修繕費」「光熱水費・委託費」は、平成 27 年度～令和 5 年度の平均額としている。



従来型と比較して 203 億円 (年間約 5 億円) の縮減

●実施計画

長寿命化型を中心とした試算結果を基に実施計画の検討を実施しました。試算結果では、長寿命化型では直近 10 年間の累計コストは約 169 億円 (年 17 億円) が必要となります。

また、本市の財政状況を踏まえ、優先的な対応が必要な学校施設を考慮し、新增築と長寿命化型を組み合わせた試算結果では直近 10 年間の累計コストは約 139 億円 (年 14 億円) が必要となります。

40 年間の総額では「新增築と長寿命化型」の方が 33 億円高くなりますが、当初 10 年間のコストは 30 億円安価となり、教室不足や必要面積の不足、また敷地不足を早期に解消するためにも「新增築と長寿命化型」で 11 年間 (R7 ~ R17 年度) の実施計画を設定しました。

表 実施計画

建物名	工事内容	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
芦刈観瀾校	増築・解体	設計・施工										
桜岡小学校	改築・増築・長寿命化改修	構想	設計・施工									
三日月中学校	改築・増築・長寿命化改修					構想	設計・施工					
晴田小学校	長寿命化改修									設計・施工		

※岩松小学校の校舎は屋根が著しく劣化しているため実施計画とは別に部位改修を行います。

※令和 18 年度以降の実施計画については、各学校の老朽化状況や今後の児童生徒数の推移、社会情勢などを考慮しながら検討します。